第２回　友好都市親善 中国語スピーチコンテスト
スピーチ部門　日本語要約

テーマ「 中国語の笑い話 」　氏名 亀田耕一

【本文】

私の住まいの周辺には山がたくさんあり、登山が大好きです。北京に滞在したおりに香山に二度登りました。

ある日、北京で道路を横断中に危うくタクシーとぶつかりそうになりました。タクシーの運転手はドアを開けて私に云いました。「お前は八宝山に行きたいのか？」私は言いました「行きたいです！八宝山どこにありますか？私は、まだそこに行ったことはありません！」タクシーの運転手は私を見て笑いを堪えることができませんでした。後で、中国人の友達は私に云いました。八宝山は墓地です。私は、自分が外国人であることを思い知らされました。

もう一つ、私はある日、中国語の女性家庭教師芳芳さんと一緒にレストランで食事をしました。私たちは楽しく話をしているとき彼女は突然立ち上がり、私に云いました。「ごめんなさい私は方便に行きます。」話し終わるとすぐに席を離れて行きました。その頃の私の中国語レベルは低く、「方便」とはどこなのか、どういう意味なのか知りませんでした。傍にいたウエイトレスに聞いたところ、「方便」とは「トイレに行くことです。」

まもなく彼女は帰ってきました。私たちは引き続きおしゃべりをして、お酒を飲みました。お別れの時に私は彼女に聞きました。「中国語の家庭教師の時間以外で、何時会えますか？」彼女は遠慮気味に言いました。「あなたが方便の時」私はそれを聞いて、とてもびっくりしました。「方便」とは「トイレに行く」という意味ではないですか！彼女はどうしてトイレで私と会わなければならないの？」

後で、「方便」という言葉はたくさんの意味を持っていることを知りました。私は、間違って理解したことに気づきました。中国語は本当に面白いと思いました。

ご清聴ありがとうございました。

第2回　友好都市親善 中国語スピーチコンテスト
スピーチ部門　中国語　原稿

氏名　亀田耕一

題目「　汉语趣话　」

【本文】

我家周围有很多山，所以我很喜欢爬山。

北京的香山我也爬过两次。一次，我在北京过马路时差点儿撞上一辆出租车，司机打开门对我说：“你想去八宝山吗？”我回答“想去！八宝山在哪儿？我还没去过那儿呢！”司机看着我，不禁哑然失笑。后来，中国朋友告诉我：“八宝山是片陵墓。”我这才知道原来我真是个“老外”！

还有一次，我和我的汉语辅导老师芳芳小姐一起在饭店里吃饭。我们正谈得非常高兴的时候，她突然站起来对我说：“对不起，我要去方便方便！”说完她就离开了饭桌。当时我的汉语不太好，所以不知道“方便”是哪儿，什么意思，就问旁边的服务员。服务员告诉我，“方便”的意思就是“上厕所”。

不一会儿，芳芳回来了。我们继续吃饭，喝酒，聊天。临分别时，我问芳芳小姐：“以后，除了辅导时间，我们什么时候可以见面呢？”芳芳很客气地说：“在你方便的时候。”我听了以后大吃一惊，“方便”是“上厕所”，她为什么要跟我在厕所见呢？

后来，我才知道是我理解错了。原来方便这个词有很多意思，我觉得汉语真有意思。

谢谢大家！